

瑞雲

直方鉄工青年会

第45号

編集 広報委員会
発行 1986.5.23

会長就任にあたって



22代会長 渡辺 泰輔

昭和51年度、直方鉄工青年会に入会して10年が過ぎましたが、本年度第22代会長として任命され責務の重さを痛感致しております。無力ながらもこの一年間全力を尽す覚悟でいます。会員はもとより諸先輩の方々何卒宜敷くご協力下さいます様お願い申し上げます。我々は現在非常にきびしい経済環境の中に置かれています。旧年は貿易摩擦に揺れ、年追ってからは現在もなお続く円高等我が国経済にとっては波高き年です。この円高基調今後ますます価格、技術面とも厳しい立場に立たされる事と思います。この様な時期を乗り切っていくには会員が切磋琢磨、一致団結力を合せて行く事が大切だと思います。私は今年度、次のスローガンを掲げて事業を推進したいと考えています。

親睦と 錬磨

まずは、「親睦と錬磨」会員数も減少し現在49名となりました。少ない会員の中から例会や事業に於いて欠席者が無い様に皆んなが仲良く楽しく出席、参加しやすい雰囲気作りにお互いが努力し、その中で勉強会や情報交換、レクレーションに励み頑張りたいと思います。

会員の 拡大

次に「会員の拡大」と云う事ですが、先にも述べました様に会員減少につきましては、先代から二代目後継者への段階が終わり三代目後継者えまはまだまだもうしばらく、と云う時期で入会者も少ない様ですが先輩会員事業所、鉄工組合員事業所、鉄工団地組合事業所の管理者や中堅社員の方達への入会の勧誘を進め多くの仲間の和を広げて行きたいと思ひます。

健康と 安全

三番目は「健康と安全」です。健康の大切さは申すまでもなく皆さん自身がおわりの事と思ひます。特に企業の経営者、管理者は自分だけのものではなくに従業員の人々、その家族の方、自分の家族に対しても健康でなくてはなりません。その為には日頃から自分自身で健康管理に留意する事です。市内の事業所に於きましても毎年数多くの災害が発生しています。中には重大事故につながる様な災害もあり、これらを未然に防ぐ様に各事業所に於いても又、会員各自の災害防止に対する認識、努力をおこたってはいけないと思ひます。以上色々な事を述べてまいりましたが、まずは今後も続く不況に対して全会員一丸となってこれを取り切っていく事に全力を尽くそうではありませんか。今年一年初代会長より引継がれてまいりました鉄工青年会の名誉を汚さぬ様、そして歴代会長諸氏の足元に少しでも近づく事が出来ます様に非力ながらも一生懸命頑張る覚悟ですので皆様の熱意ある御協力をお願い申し上げます。

鉄工青年会に期待するもの

昭和53年市役所に入って以来、鉄工青年会とは既に8年の付合になる。山本会長から始まって渡辺会長まで8代の会長である。いろいろな個性があった。思い起せば数え切れない。この間鉄工業界を取り巻く環境は大きく変化した。

て明日への展望が開かれたのだろうか。結果的には、全体としてあまり成長しなかったことは前述のとおりであるが、各企業ごとに個別に見た時は、確かに成長した企業もある。

技術革新を含めた経営環境の変化に 積極的に応対しよう

日和見主義から脱皮して、進取の精神で
直方市商工課 大塚進弘

当時小さかった産業界のハイテク化は、一段と速度を増しながら押し寄せて来たし、またいわゆる鉄の時代が終わったのではないと思われるような状況もでてきた。

この間、直方の鉄工業界はどう変化したのだろうか。現在の鉄工業界を昭和53年当時と比較してみよう。昭和53年の鉄工業界は、昭和49年のオイルショックの影響をまだ色濃く残していた。従業員数2,941人で生産額248億円であった。これが昭和59年には、従業員2,617人で生産額350億円となり、生産額で1.4倍、従業員数で0.89倍となった。6年間1.4倍の成長はそこそこと考えるかもしれないが、これを県下の製造業の付加価値成長性（S・53年1人当付加価値額/S・59年1人当付加価値額）という点から捕えると、県下の工業全体で2.2倍である。因に直方市の工業全体でも1.5倍である。飯塚市2.1倍、田川市1.1倍、直方市と関連の深い北九州市は1.8倍となっている。本市工業の停滞の状況が数字の上からも明らかである。業種別では、鉄工業・電気機械が県平均よりも低く一人当付加価値では、金属製品製造業を除いて全く低く、鉄鋼業・非鉄金属製造業・電気機械に至っては、県平均の半分以下である。このように本市の鉄工業は8年間非常に厳しい経営を強いられたことがわかる。

では、この間鉄工青年会は何を考え方の基本とし、何をなしてきたのであろうか。また各会員はどう企業を支えて引張ってきたのだろうか。果し

しかし、技術革新を含めた経営環境の変化に積極的に応対をみせた企業は、ほんとうに数少ない。回りがICだ、新素材だどハイテク化で騒ぐのにつられて、急に背伸びをしようとしても駄目であろうし、かといって自分たちの手の届かないものとして消極的になっても企業の発展はないだろう。成長した企業をみてみると同じようにころがっているチャンスを積極的につかむ努力をするとともに、それが成功するまで努力を続けている結果であることがわかる。私達はえてして無いもの強請りをして、自己の責任を回避したがるものであるが、無いもの強請りをしてもしようがない。今ある戦力で戦わなければならない。戦力が無ければ戦力を自らつけなければならない。その為には、まず自分の会社、あるいは自分の属する組織というものをよく分析してやる必要がある。そして何よりも大切なことは、次の一步を踏み出すことである。リスクの無い仕事はないし、リスクの無いところに前進もない。

こうした意味において青年会というものが何かの役割を果せたらと考える。会員数の減少という状況の中で、誘致企業も含めたいろいろな人達を仲間に加え、各会員が互いに切磋琢磨していくような会の雰囲気になって欲しい。閉鎖的な組織には、活力がないのではないだろうか。坂城の例にみるまでもなく、進取の精神で取り組まねば発展はない。日和見主義からの脱皮が大切である。

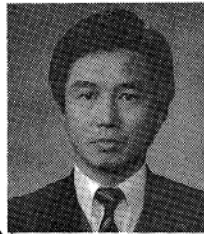
明日の鉄工業界を語るような熱いものをもった人達が集まる鉄工青年会あって欲しい。そして鉄工業界の将来に瑞雲がみえることを期待する。

昭和59年3月より、株式会社小野原鉄工所に移籍して、すでに2ケ年経過致しました。前勤務先、岡崎工業株式会在籍時代は、建設業務に約10年間従事していましたので、只今鉄の勉強中であり

苦勞しています。

さて、今度の鉄工青年会入会の勧誘に当り、時期尚早とは思いましたが、推薦者の方、並びに社内の方々のご好意により、思いきって入会致しました。この上は、会の主旨に従い、少しでもお役に立っ様努力していきたいと思ひます。又、会員の皆様方には、よろしく御指導、御鞭撻を戴き、大きく視野を広げていきたいと思ひます。若宮町の実家では、妻、長女3才、次女1才、母、女性4人の館で暮しています。

福智産業㈱
栗原康之氏



㈱小野原鉄工所
安永充孝氏

今回伝統ある直方鉄工青年会に入会させて頂き嬉しく思ひます。以前より当青年会の優秀な噂は耳にしていたましたが、入会してはじめて、この会が21年もの歴史を持ち、その間時代の変遷激動の中を各経営者として立派に切抜け、会長はじめ、会員の皆様の事を話や記録に見聞して、皆さまの努力と団結を思ふ時、只々感服すると共に己れの未熟を感じ、大いに勉強しなければと思ひます。

しっかりした信念、意見をお持ちの先輩諸氏、そして今、会員の方々と交流して、今後益々親睦を重ね、よき師よき共を得て、世事に疎い自分を向上させるように視野を広め、研修に励み、いろいろ皆さまの御指導を仰ぎたいと願ひしています。

そして会員の1人として何時の日にか直方鉄工青年会入会の喜びを何等かのお役に立つ事の出来るよう努力したいと意を新にしています。

宜しく御指導のほど新入生としてお願い致します。

此度直方鉄工青年会に入会しまして皆様方の仲間入りをさせて頂きました、宜しくお願い致します。この紙面を借りまして簡単な自己紹介をさせて頂きます。

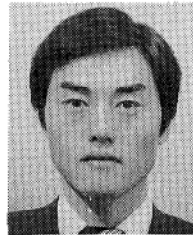
昭和32年2月20日、熊本市内に生まれまして小、中、高を過ごした後、大学は福岡で過ごしました。

昭和54年大学卒業後、全く異業種である飲料メーカーに入社しまして、6年間営業、営業管理をやっておりましたが、昭和60年縁ありまして祖父の会社である田中信鉄工所に入社致しました。入社当初は現場作業に汗を流しまして、現在は営業活動に忙しい日々を送っておりますが、まだまだ解からない事も多く毎日毎日が勉強と鍛練の繰返しの状態です。

学生時代は空手を6年間やっておりましたが現在の趣味は旅行とゴルフです。ゴルフに関してはイメージだけはプロのつもりでスイングするのですが“ボールの行方はボールに聞かねば解りません”、という程度のもので、機会が有りましたら宜しく御指導願ひたく思ひます。以上自己紹介とさせて頂きます。

最後に伝統ある直方鉄工青年会の名を汚さぬよう努力精進しまして栄えある青年会の益々の発展の為微力を尽させて頂く所存でございます。諸先輩の皆様方、今後とも宜しく御指導、御鞭撻の程御願ひ申し上げます。

細田金属工業㈱
細田 宏氏



㈱田中信鉄工所
西田義治氏

会員の皆様、始めまして、今度、青年会に入会させていただくことになりました、細田 宏です。

兄同様、よろしく、願ひします。

甚だ、私くし事で恐縮ですが、四月七日に長男が誕生し一家の大黒柱となり、責任の重さを感じており、又、会社においても、同様の立場に成りつつあります。

昨今の、鉄工業界を取り巻く厳しい状況に於いては、柱の安定して否い家は、崩壊につながりかねます。

何卒、諸先輩方の御指導、御鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

新会員

ご紹介します

第3号、4号予算 昭和61年度直方鉄工青年会事業及び予算

月	区分	総務委員会	厚生委員会	経営委員会	広報委員会
4		通常総会			
5		例会	ソフトボール大会(例会)		瑞雲発行(45号)
6		例会	ナイター見学	バレーボール(例会)	会報(6月~3月)
7		O B 合同例会			
8		例会			水泳大会
9		例会		経営セミナー(例会)	
10			旅行(例会)		
11		例会		経営セミナー(例会)	
12			忘年会(例会)		
1		新年例会			
2		通常総会			瑞雲発行(46号)
3					夫婦同伴例会
		名簿及び手帳			奉仕事業(9月か2月)
計		1,130,400	733,000	28,850	390,000
上記予算案合計2,282,250+事務局費657,750=2,940,000...昭和61年度予算 但し、事務局費には、まつりくらじ、中央会参加費、61年度ホウ賞、予備費を含む					

広報委員長 田島悦朗

今回渡辺会長よりご指名を受けまして広報委員長を務めることになり大変有難いと思っています。

人生何事につけても、目で見ると、体で体験した方が身になると思いますし、それも誰の為でもなく自分の為の試練だと思ひ、できるだけ事はやろうと日々奮闘中です。

昨今、世の中色々な事がありすぎて毎日の新聞紙上においても、考えられない事がしばしば掲載されておりますが、今から何が我々に必要なのか？ 私なりに考えました。

先ず第一に「発想の角度を変える」ということです。この物体は、この方法、この値段でしかとうてい出来ないと思ってしまうと、本当にその値段になってしまいます。

我々が今から考えていかなければならない事は、円高、コストダウン、ベースUP、人間問題等数多くありますが、発想の転換をスムーズにやれるか。いかにして本音を客先にアピール出来るか。自分の個性を仕事に生かせるか。こういう事がうまく出来るかどうかによって、これから生き残れるか、沈むかのどちらかしかかれないと思います。

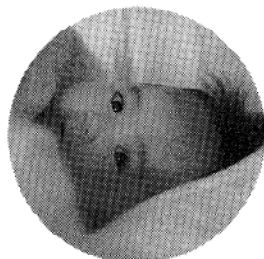
これからもまだまだ先の長いばらの道だと思いますが、「人間らしい人間」でいつも色々な人と接したいものです。

これからも皆さん一緒にガンバリましょう。!!



おめでとう

お誕生



香苗ちゃん
(篠崎光繁氏長女
S61. 1. 8生)



ひろし
拓史ちゃん
(吉田祐司氏長男
S61. 2. 1生)



将一ちゃん
(坂田幸一氏長男
S61. 2.25生)